

平成20年度 事業実施計画

日本競馬界の念願の「パートI国」入りのなか、世界各国の競馬先進国で、日本の競走馬が大活躍をしている。この要因として、血統の充実はもちろんであるが、それを開花させる育成技術の向上に負うところも多く、競走馬育成業界、本協会会員の役割の重要性は一層広く定着・認識されてきている。

平成20年度は、引き続き会員の育成技術の一層の向上に資する事業に重点を置きつつ、関係機関のご協力とご支援を得ながら、以下の事業を計画的、効率的に実施して健全なる競馬の発展に寄与するものとする。

また、育成者が担っている重要な役割や、当協会の業務運営、会員の活動内容等について積極的にPR活動に取り組むとともに、本協会の目的に適う事業・制度の改善については、積極的検討を行い、経営環境に注視しつつ経営リスク軽減に向け努めるものとする。

1. 育成技術表彰事業の実施

- (1) 会員の育成技術の向上を図り、丈夫で強い馬づくりを目指した競走馬育成の健全な発展に資するため、育成技術表彰事業を実施する。
- (2) 表彰対象競走は昨年同様、全445競走程度とする。
新馬競走(250程度)、2歳重賞競走(16)、障害重賞競走(10)、
3歳以上重賞競走(109)、3歳以上平地オープン競走(除く3歳限定)(60程度)
- (3) 一部表彰対象競走にあつては、施行場における表彰式への参加機会新設の実現に向けて、関係機関との調整を図る。

2. 育成技術講習会の開催

- (1) 競走馬の育成・調教に関する経営・飼養・衛生・環境管理及び馴致・トレーニング法等の知識や手法について、普及啓蒙を図り、丈夫で強い馬づくりに資するため、育成技術講習会を実施する。
- (2) その実施にあたっては、昨年に引き続き、日本中央競馬会、(財)軽種馬育成調教センターとの連携、共催することにより、なお一層の運営効率化を図ることとする。

3. 軽種馬経営高度化指導研修事業の実施

- (1) 会員の軽種馬育成に関する高度な知識・技術の習得を目的として、生産育成技術海外派遣事業を実施する。
- (2) 制度がより有効に活用されるよう、運営について、関係機関と調整を図るとともに、会員への情報提供等を積極的に行う。

4. 2歳育成馬トレーニングセールスの推進

- (1) 会員の育成成果を公開する場でもあるトレーニングセールスにおいて、その開催後援等により市場取引の活性化を図る。

5. 育成経営の実態及び改善に関する基礎調査事業の実施

- (1) 競走馬の育成を行う者の、育成環境の改善及び育成技術の向上に資するため、育成経営の基礎調査並びに特別調査を実施する。
- (2) 会員の経営基盤強化に資する調査・研究のため、従来の概況調査等に加えて、人材養成・確保に関する調査を実施する。

6. 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業の実施

- (1) 育成施設等の整備のため、(財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受け、軽種馬生産育成強化資金利子補給事業を実施する。
- (2) 制度がより有効に活用されるよう、関係機関との情報交換、諸調整を図る。

7. 育成情報誌発行事業の実施

- (1) 当協会の主要行事、関連する業界の動向等、会員が必要とする情報を提供するため、機関誌「いくせい」を発行する。

8. その他付随的な事業等への取り組み

- (1) 会員の経営改善に資するため、畜産環境整備リース事業及び競馬関連機材有効活用事業に積極的に取り組む。

9. 協会組織の拡充強化と積極的なPR活動の実施

- (1) 協会への新規加入を促進し、育成者の連携と連帯を深めることを目指し、組織の整備拡充を図る。
- (2) 公益法人制度改革における、公益社団法人の認定を受けるべく、必要な諸手続きを進める。
- (3) 新規会員の招致活動及び協会活動、会員牧場のPR（上記機関誌の活用、マスコミ等への情報提供等）を積極的に行うとともに、ホームページ作成の準備・調査に取り組む。

10. 会議の開催

- (1) 上記の事業運営について、審議・協議するため、総会、理事会等を開催する。

収支予算書総括表

平成20年1月1日 ～ 平成20年12月31日

(単位:千円)

科 目	一般会計	育成経営の実態 及び改善に關する 基礎事業会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	軽種馬経営 高度化指導 研修事業会計	合 計
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
入会金収入	150	0	0	0	150
会費収入	5,940	0	0	0	5,940
補助金等収入	72,431	0	2,340	0	74,771
委託事業費収入	0	1,737	0	0	1,737
補助事業費収入	0			10,000	10,000
雑収入	456	0	0	0	456
事業活動収入計	78,977	1,737	2,340	10,000	93,054
2. 事業活動支出					
事業費支出	52,469	1,737	1,479	9,973	65,658
業務管理費支出	27,926	0	0	0	27,926
業務委託費支出	1,198	0	0	0	1,198
育成技術向上推進事業費支出	317	0	0	0	317
2歳育成馬トレーニング事業費支出	0	0	0	0	0
育成情報誌発行事業費支出	430	0	0	0	430
育成技術表彰事業費支出	22,598	0	0	0	22,598
育成経営の基礎調査事業費支出	0	1,186	0	0	1,186
競走馬資源有効調査事業費支出	0	551	0	0	551
利子補給事業費支出	0	0	1,479	0	1,479
育成技術者海外派遣費支出	0	0	0	9,447	9,447
派遣者選考経費支出	0	0	0	526	526
推進事務費支出	0	0	861	1,243	2,104
現地指導旅費支出	0	0	461	0	461
通信運搬費支出	0	0	100	132	232
会議費支出	0	0	150	119	269
印刷費支出	0	0	150	300	450
旅費支出	0	0	0	615	615
消耗品費支出	0	0	0	77	77
補助金等返還金支出	0	0	0	4,793	4,793
管理費支出	25,503	0	0	0	25,503
役職員給与支出	17,029	0	0	0	17,029
事務費支出	6,996	0	0	0	6,996
会議費支出	1,478	0	0	0	1,478
事業活動支出計	77,972	1,737	2,340	16,009	98,058
事業活動収支差額	1,005	0	0	△ 6,009	△ 5,004
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定預金取崩収入	0	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出					
特定預金取得支出	2,009	0	0	0	2,009
投資活動支出計	2,009	0	0	0	2,009
投資活動収支差額	△ 2,009	0	0	0	△ 2,009

科 目	一般会計	育成経営の実態 及び改善に關する 基礎事業会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	軽種馬経営 高度化指導 研修事業会計	合 計
Ⅲ財務活動収支の部					
1.財務活動収入	0	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2.財務活動支出	0	0	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅳ予備費支出					
当期収支差額	△ 1,004	0	0	△ 6,009	△ 7,013
前期繰越収支差額	3,096	0	0	4,793	7,889
次期繰越収支差額	2,092	0	0	△ 1,216	876

(注) 1.借入金限度額 0円
2.債務負担額 0円